

杵築市の水道事業

R7.10.20

上下水道事業審議会資料

杵築市の水道事業

杵築市水道ビジョンの将来像

～ **き**れいで **やさ**しく **お**いしい水道を目指して～

基本理念

きれいで（安心）

やさしく（安定）

おいしい（持続）

安全で安心な水道システム

安定した水道施設

持続可能な水道事業

杵築市の水道事業

水道事業の歩み

年	月日	沿革
昭和29年 (1954年)	12月1日	守江簡易水道事業創設
昭和31年 (1956年)	7月4日	杵築市水道事業創設
昭和35年 (1960年)	4月6日	杵築市水道事業第1次拡張
昭和39年 (1964年)	8月22日	山香町水道事業創設
昭和41年 (1966年)	1月17日	杵築市水道事業第2次拡張
昭和42年 (1967年)	6月1日	山香町水道事業第1次拡張
昭和47年 (1972年)	2月14日	杵築市水道事業第3次拡張
昭和51年 (1976年)	1月14日	杵築市水道事業第4次拡張 (1次)
昭和52年 (1977年)	9月1日	山香町水道事業第2次拡張
昭和53年 (1978年)	7月7日	山浦簡易水道事業創設
昭和53年 (1978年)	8月18日	相原簡易水道事業創設
昭和55年 (1980年)	8月22日	久木野尾管理水道事業創設
昭和57年 (1982年)	9月29日	山香町水道事業第3次拡張
昭和58年 (1983年)	6月16日	久木野尾簡易水道事業第1次拡張
昭和59年 (1984年)	5月29日	向野簡易水道事業創設
平成元年 (1989年)	5月11日	豊洋簡易水道事業創設
平成6年 (1994年)	9月8日	杵築市水道事業第4次拡張 (2次)
平成10年 (1998年)	6月23日	久木野尾簡易水道事業第2次拡張
平成12年 (2000年)	1月6日	俣水簡易水道事業創設
平成13年 (2001年)	6月7日	山香町水道事業第1次拡張
平成14年 (2002年)	2月22日	相原簡易水道事業第1次拡張
平成15年 (2003年)	11月4日	豊洋簡易水道事業第1次拡張
平成17年 (2005年)	9月30日	市町村合併に伴い各水道事業廃止
平成17年 (2005年)	10月1日	新杵築市として各水道事業創設
平成24年 (2012年)	3月29日	相原簡易水道事業第2次拡張 (1次)
平成30年 (2018年)	3月30日	杵築市水道事業第1次拡張

水道経営について

水道事業のしくみ

水道事業とは、税金を使わないで、市民の皆様からいただいた水道料金で全てを賄う独立採算制により経営しています。

地方公営企業法による経営

水道事業は、地方公営企業法により、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならないとされています。

つまり給水するための費用や建設投資にかかる費用については、受益者負担を原則として、本市でも経営しています。

杵築市の水道事業

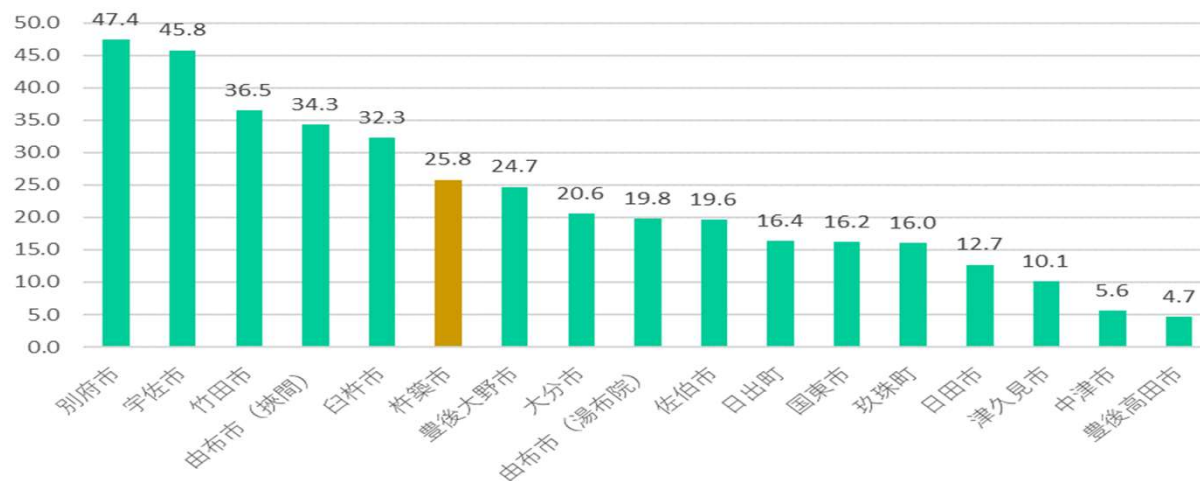
杵築市水道事業の現状

- ・ 給水人口（水道を使用している人数） 21,446人
 - ・ 給水戸数 10,393戸
 - ・ 水道の普及率 82.4%
 - ・ 一日平均配水量 7,364m³/日
 - ・ 給水区域面積 8,831ha
 - ・ 一日最大配水量 9,503m³/日
- 令和6年度末現在

管路の状況

- ・ 杵築水道事業の導水管・送水管・配水管の総延長は、令和6年度末時点において434.75km、そのうち法定耐用年数を経過した管路延長は112.02kmになる。

法定耐用年数超過管路率(%)



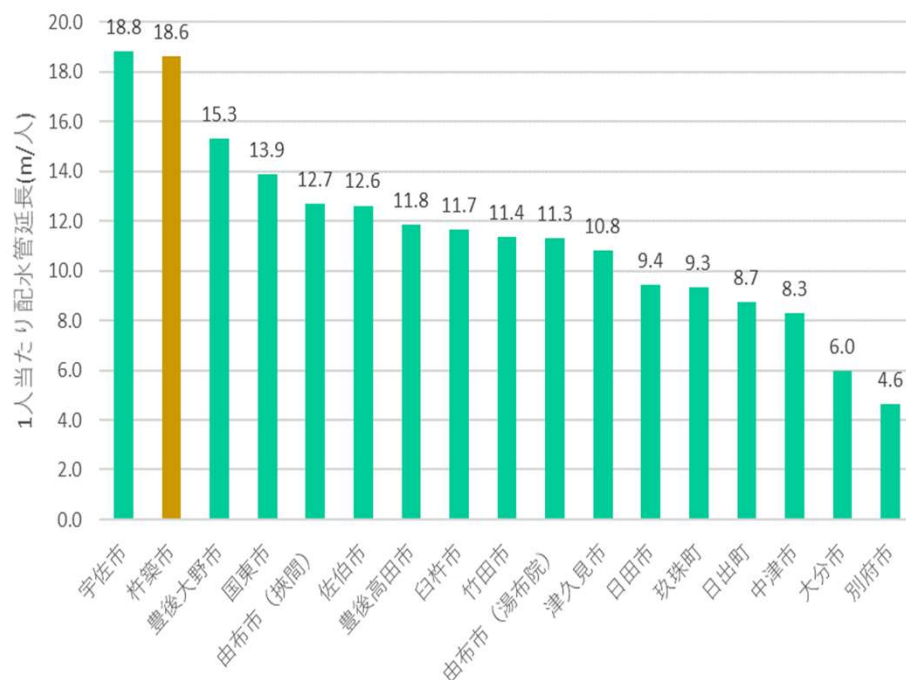
数値：R7アセットマネジメントから

杵築市の水道事業

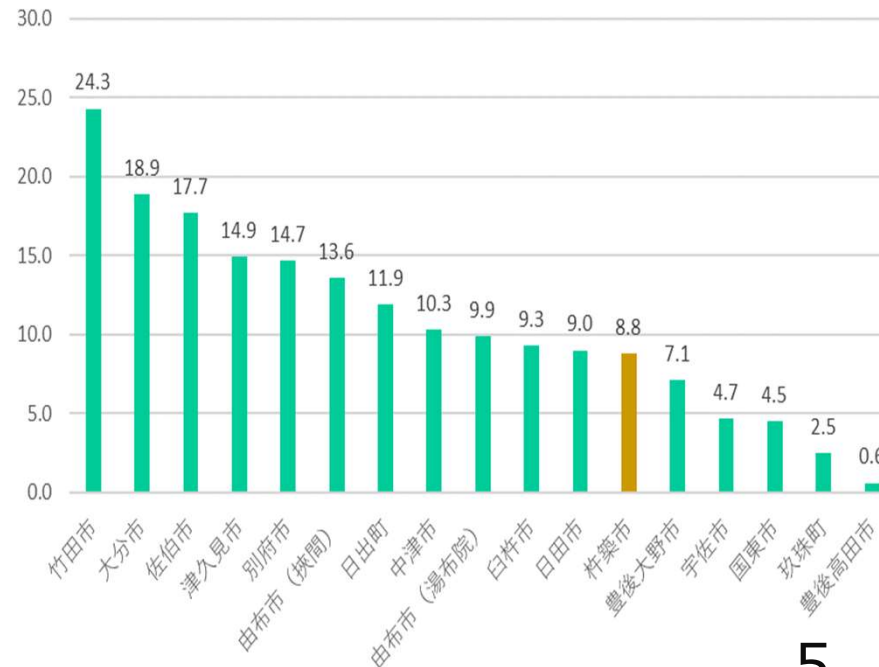
杵築市水道事業の現状

- ・ 管の更新が平均より進んでいない要因の一つに1人当たりに対する配水管路の延長がある。
本事業の単位配水管延長は、18.6 mと県内で2番目に高く他団体よりも更新に対し負担が大きい状況にある。
- ・ 管路の耐震化率は8.8%で県内では下位に属する。
県内全体でも耐震化率は低い状況であり大規模災害に対する備えは脆弱であることがわかる。

単位配水管延長

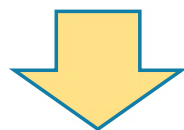


管路の耐震化率(%)



水道事業の課題

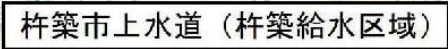
1. 老朽化した管路・施設等の計画的な更新
2. 維持管理費等の節減
3. 人口減少や節水機器の普及による水道料金収入の減少
4. 浄水場更新に伴う事業費用の増加
5. 職員数の減少に伴う、人材の確保・育成



水道事業は、市民の生活に欠かせないライフラインであることを踏まえ、安定的かつ継続的な事業運営を維持するために、設備投資等の将来予測を見通し、必要な財源を確保していく必要がある

施設概要

杵築給水区域 昭和31年創設

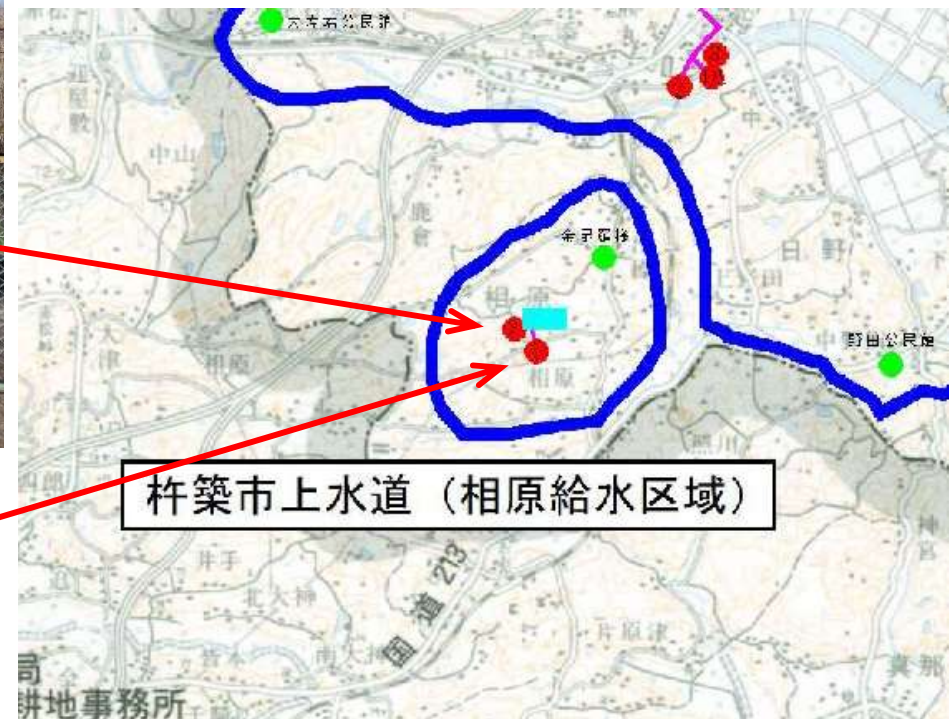


相原給水区域 昭和53年創設

相原第2水源・配水池

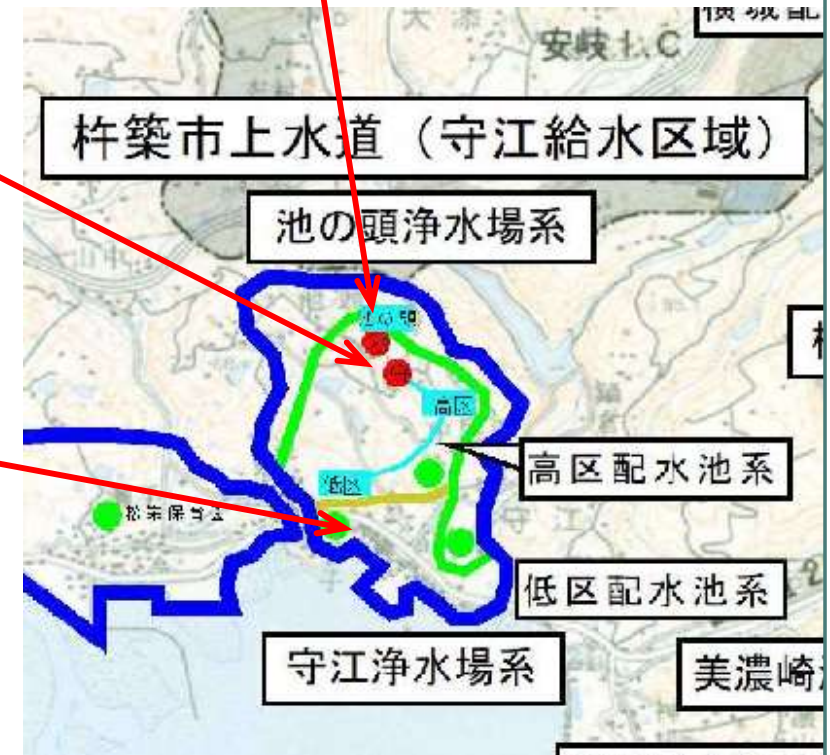


相原第1水源



相原市上水道（相原給水区域）

守江給水区域 昭和29年創設



豊洋給水区域 平成元年創設



豊洋給水区域 平成元年創設

豊洋第5水源・ろ過機



豊洋第7水源



豊洋第4水源・ろ過機



山香給水区域 昭和39年創設

小野尾水源・ろ過機



元河内水源



貫井水源



日指水源

A photograph of the Hiyoshi Water Source, featuring several large, spherical metal storage tanks arranged in a row. They are protected by a chain-link fence. A small concrete building is visible in the background.

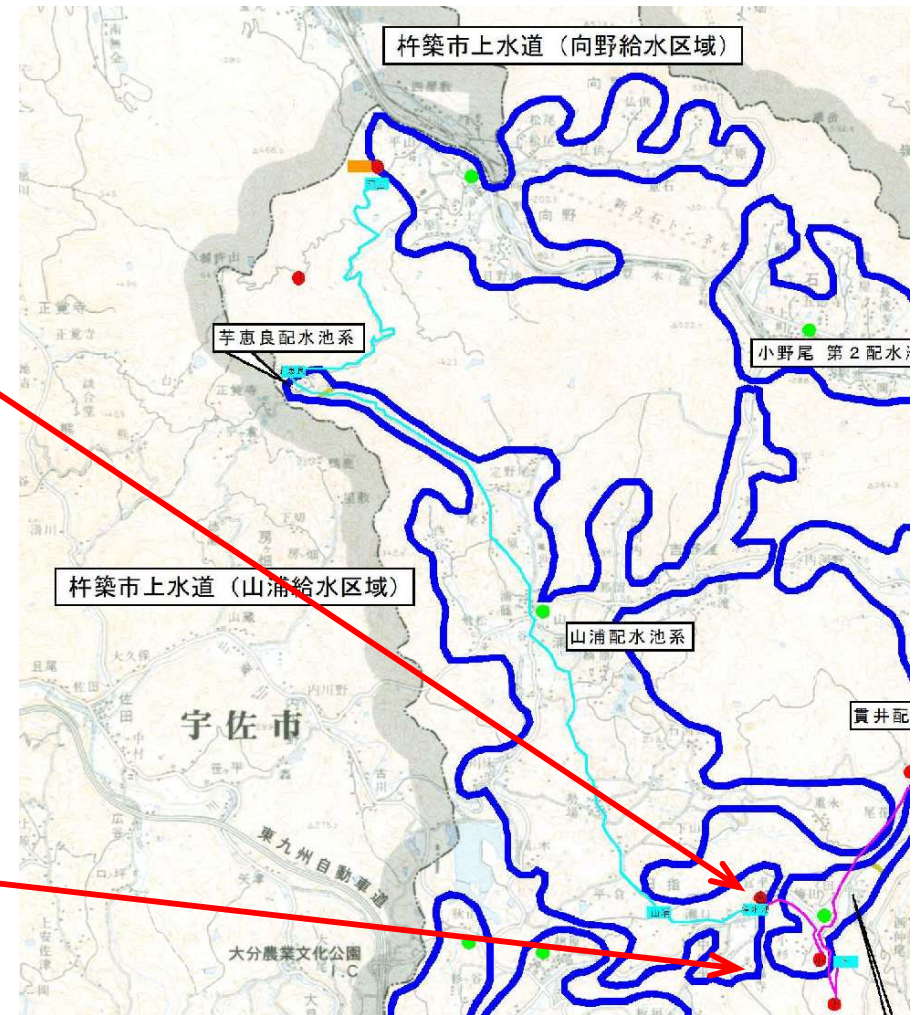
A map of the Yamaguchi City Water Supply Area (山香給水区域). The map shows the city's layout with various water distribution systems highlighted in different colors: blue for the main system, green for the Ononoseki system, yellow for the Kanai system, and pink for the Hiyoshi system. Red arrows point from the photographs of the water sources to their respective locations on the map. Labels on the map include: 小野尾 第2配水池系 (Ononoseki No. 2 Distribution System), 中第1配水池系 (Nakanishi No. 1 Distribution System), 小野尾 第3配水池系 (Ononoseki No. 3 Distribution System), 小野尾 第1配水池系 (Ononoseki No. 1 Distribution System), 元河内配水池系 (Motokawa Distribution System), 下日指配水池系 (Shimo-Hiyoshi Distribution System), 貫井配水池系 (Kanai Distribution System), and 山香庁舎 (Yamaguchi City Hall). The map also shows the 杵築市上水道 (山香給水区域) (Yamaguchi City Water Supply Area) and surrounding areas like 田山 (Tayama) and 大曲 (Ōmae).

1 2

宮平水源



西福寺水源・ろ過機



久木野尾給水区域 昭和55年創設



俣水給水区域 平成12年創設



俣水水源



杵築市上水道（俣水給水区域）

或)